

## 第2節 基本方針及び全体目標

### 1 基本方針

千葉県では、高齢者人口の急増が見込まれており、疾病構造は大きく変化し、医療需要の増加が見込まれていることから、発症予防の推進と共に、超高齢社会に対応した保健医療提供体制を充実させていく必要があります。

そのため、「千葉県保健医療計画」では、以下のとおりの基本理念を掲げ、4つの柱に沿った施策を展開しています。

#### ○ 千葉県保健医療計画の基本理念

県民一人ひとりが、健やかに地域で暮らし、心豊かに長寿を全うできる総合的な保健医療福祉システムづくり

#### \* 基本的施策の4つの柱

- (1) 質の高い保健医療提供体制の構築
- (2) 総合的な健康づくりの推進
- (3) 保健・医療・福祉の連携確保
- (4) 安全と生活を守る環境づくり

県推進計画においては、千葉県保健医療計画の施策と一体的に循環器病対策を推進することとし、基本理念の実現に向けて循環器分野における県推進計画の全体目標及び各項目別の現状や課題、施策を取りまとめました。

### 2 全体目標

国基本計画においては、「2040年までに3年以上の健康寿命の延伸及び循環器病の年齢調整死亡率の減少」を目指すとされています。

- \* 健康寿命(国)：基準年 2016年(平成28年)  
男性 72.14年、女性 74.79年  
年齢調整死亡率(国)：基準年 2021年(令和3年)  
脳血管疾患 男性 93.7、女性 55.1  
心疾患 男性 193.8、女性 110.2

このことを踏まえ、県推進計画の全体目標は、以下のとおりとします。

#### (1) 健康寿命の延伸

「2040年までに3年以上の健康寿命の延伸」とします。

- \* 基準年 2016年(平成28年)  
男性 72.37年、女性 75.17年

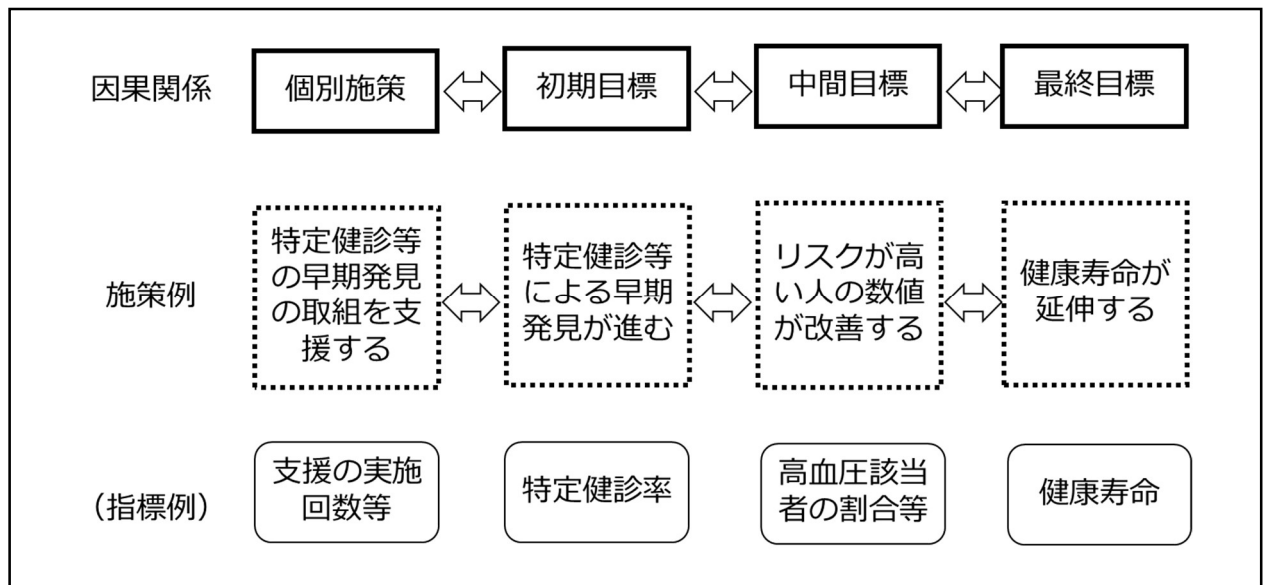
#### (2) 循環器病の年齢調整死亡率の減少

2029年度(令和11年度)までの目標を「減少」とします。

- \* 基準年 2020年(令和2年)  
脳卒中 男性 91.2、女性 55.5  
心血管疾患 男性 200.2、女性 116.3

### 3 ロジックモデル

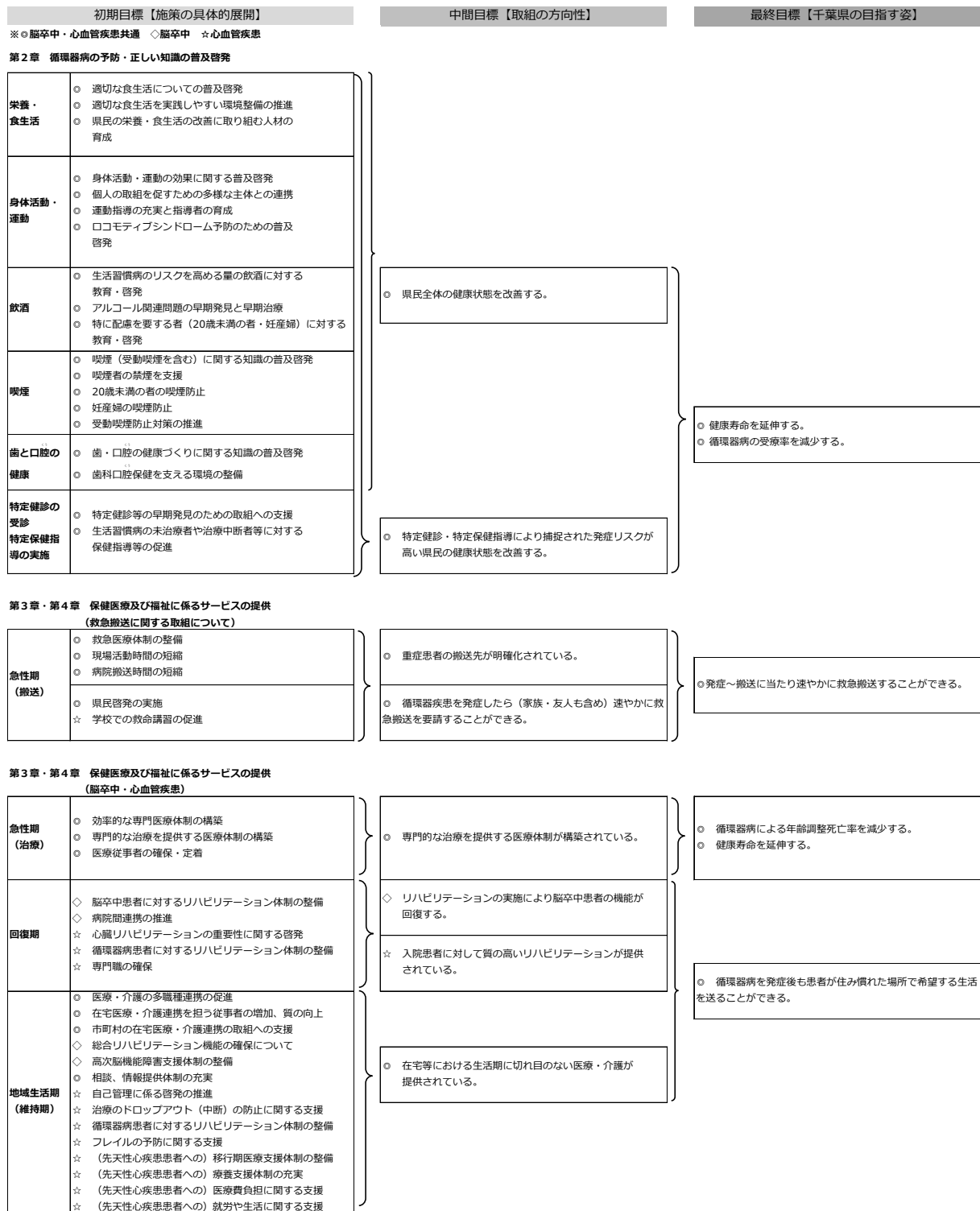
ロジックモデルとは、目的と施策の因果関係を示したものです。



図表 1-2-3-1 ロジックモデル

施策の効果を確保するために、最終目標の達成のための中間目標や初期目標を考えます。次に、それを計測できる指標を考えます。そしてロジックモデルの活用により、指標の数値の推移と施策の成果への効果の関係を確認しながら、必要に応じて施策の見直しを行います。

図表 1-2-3-2 ロジックモデル（目標と施策一覧表（概要版））



図表 1-2-3-3 ロジックモデル（指標一覧表（概要版））



図表 1-2-3-4 ロジックモデル  
(第2章循環器病の予防・正しい知識の普及啓発)



図表 1-2-3-5 ロジックモデル  
(第3章保健医療及び福祉に係るサービスの提供(脳卒中))



図表 1-2-3-6 ロジックモデル  
(第4章 保健医療及び福祉に係るサービスの提供 (心血管疾患))



図表 1-2-3-7 ロジックモデル（救急搬送）

